



平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社インターアクション
 コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	1,056	12.4	132	25.7	121	45.6	61	3.2
29年5月期第1四半期	939	16.0	105	82.1	83	65.0	63	965.2

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 61百万円 (19.4%) 29年5月期第1四半期 51百万円 (366.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	6.49	
29年5月期第1四半期	6.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第1四半期	6,549	3,028	46.2	320.43
29年5月期	5,015	3,134	62.5	329.71

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 3,028百万円 29年5月期 3,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		12.00	12.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年5月期 期末配当金の内訳 普通配当10円 記念配当2円

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,980	7.2	566	30.0	505	21.1	420	6.5	44.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 信託が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期1Q	10,052,100 株	29年5月期	10,052,100 株
期末自己株式数	30年5月期1Q	600,728 株	29年5月期	545,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期1Q	9,487,988 株	29年5月期1Q	9,484,444 株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員株式報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8
3. 平成30年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 受注実績の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージセンサ向け検査用光源装置につきましては、主要販売先である半導体メーカーにおいてスマートフォンやタブレット端末向け製品の需要が好調なため、光源装置及び瞳モジュールの販売は、好調に推移いたしました。

環境エネルギー事業につきましては、当第1四半期連結累計期間は、印刷機械の更新需要の減少並びに不採算事業からの撤退により、売上高は減少いたしました。利益は改善いたしました。

インダストリー4.0推進事業につきましては、精密除振装置の販売先である海外液晶パネルメーカーの設備投資意欲は中期的には高まると予想されますが、工場建設の端境期と重なり当第1四半期連結累計期間では落ち着いた状態となりました。しかしながら積極的な営業活動の結果、前年同期と比較し、精密除振装置の売上高は増収となりました。また当第1四半期連結累計期間に株式会社東京テクニカルの全株式を取得し、完全子会社化いたしました。株式会社東京テクニカルの売上は、第2四半期連結累計期間から計上されます。

経常利益は前年同期を上回ったものの、税務上損金計上できない企業取得関連費用が発生したこと及び繰越欠損金が減少したことにより法人税等は増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,056百万円(前年同期比12.4%の増加)、売上高の増加等により、売上総利益は513百万円(前年同期比20.2%の増加)、営業利益は132百万円(前年同期比25.7%の増加)、経常利益は121百万円(前年同期比45.6%の増加)、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円(前年同期比3.2%の減少)となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(IoT関連事業)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージセンサ向け検査用光源装置につきましては、主要販売先である半導体メーカーにおいてスマートフォンやタブレット端末向け製品の需要が好調なため、光源装置及び瞳モジュールの販売は、好調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は512百万円(前年同期の売上高345百万円に比し、48.2%の増加)、セグメント利益は270百万円(前年同期のセグメント利益187百万円に比し、44.6%の増加)となりました。

(環境エネルギー事業)

当第1四半期連結累計期間は、印刷機械の更新需要の減少並びに不採算事業からの撤退により、売上高は減少いたしました。利益は改善いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は174百万円(前年同期の売上高246百万円に比し、29.2%の減少)、セグメント利益は16百万円(前年同期のセグメント利益2百万円に比し、496.6%の増加)となりました。

(インダストリー4.0推進事業)

インダストリー4.0推進事業につきましては、精密除振装置の販売先である海外液晶パネルメーカーの設備投資意欲は中期的には高まると予想されますが、工場建設の端境期と重なり当第1四半期連結累計期間では落ち着いた状態となりました。しかしながら積極的な営業活動の結果、前年同期と比較し、精密除振装置の売上高は増収となりました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は369百万円(前年同期の売上高347百万円に比し、6.3%の増加)、企業取得関連費用の計上等によりセグメント損失は12百万円(前年同期はセグメント利益52百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,534百万円(うち、新連結子会社の増加分1,453百万円)増加し、6,549百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ904百万円(同840百万円)増加し、5,046百万円となりました。これは、現金及び預金が541百万円(同539百万円)、たな卸資産が455百万円(同155百万円)それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ630百万円(同612百万円)増加し、1,502百万円となりました。これは、連結子会社の増加により、有形固定資産(純額)が177百万円、のれんが225百万円、保険積立金(投資その他の資産/その他)が178百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,640百万円(同887百万円)増加し、3,520百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が235百万円(同152百万円)増加し、1年内を含む社債及び借入金1,266百万円(同613百万円)純増したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、3,028百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金114百万円及び自己株式の増加39百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成29年7月12日公表時より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,945,384	2,487,047
受取手形及び売掛金	1,425,152	1,373,337
営業投資有価証券	69,469	67,618
商品及び製品	23,913	68,042
仕掛品	290,351	550,358
原材料及び貯蔵品	223,123	374,648
その他	175,070	146,187
貸倒引当金	△10,217	△20,890
流動資産合計	4,142,247	5,046,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	221,788	308,048
土地	105,002	169,901
その他(純額)	118,596	170,225
有形固定資産合計	445,386	648,175
無形固定資産		
のれん	243,057	460,326
その他	57,748	54,420
無形固定資産合計	300,806	514,746
投資その他の資産		
投資有価証券	233,642	249,694
その他	152,334	347,666
貸倒引当金	△259,214	△257,298
投資その他の資産合計	126,763	340,061
固定資産合計	872,956	1,502,984
資産合計	5,015,203	6,549,333
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,596	731,384
短期借入金	200,000	240,000
1年内償還予定の社債	40,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	212,016	507,629
未払法人税等	67,785	60,390
賞与引当金	—	30,903
製品保証引当金	4,801	18,971
役員株式給付引当金	41,904	54,111
その他	195,511	273,712
流動負債合計	1,257,615	2,017,103
固定負債		
社債	30,000	260,000
長期借入金	475,315	1,115,885
株式給付引当金	2,055	2,152
退職給付に係る負債	81,998	75,988
資産除去債務	10,133	10,134
その他	23,684	39,612
固定負債合計	623,186	1,503,773
負債合計	1,880,801	3,520,876

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,513,063	1,513,063
利益剰余金	1,232,357	1,166,604
自己株式	△220,127	△260,005
株主資本合計	3,136,276	3,030,645
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,875	△2,187
その他の包括利益累計額合計	△1,875	△2,187
純資産合計	3,134,401	3,028,457
負債純資産合計	5,015,203	6,549,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	939,546	1,056,130
売上原価	512,075	542,285
売上総利益	427,471	513,844
販売費及び一般管理費	321,725	380,948
営業利益	105,745	132,896
営業外収益		
受取利息	152	160
受取配当金	0	100
貸与資産賃貸料	2,512	1,904
持分法による投資利益	—	549
補助金収入	6,481	—
その他	5,562	799
営業外収益合計	14,709	3,513
営業外費用		
支払利息	6,310	3,395
貸与資産諸費用	2,943	2,922
為替差損	23,903	2,170
社債発行費	—	4,824
持分法による投資損失	263	—
その他	3,232	1,109
営業外費用合計	36,652	14,422
経常利益	83,802	121,987
特別損失		
固定資産除却損	2	—
固定資産売却損	407	93
特別損失合計	409	93
税金等調整前四半期純利益	83,393	121,893
法人税、住民税及び事業税	16,554	22,943
法人税等調整額	3,222	37,340
法人税等合計	19,777	60,283
四半期純利益	63,615	61,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,615	61,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	63,615	61,609
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,660	△295
持分法適用会社に対する持分相当額	△609	△16
その他の包括利益合計	△12,270	△312
四半期包括利益	51,345	61,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,345	61,297
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社東京テクニカルの全株式を取得したため、同社及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	345,706	246,393	347,446	939,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	345,706	246,393	347,446	939,546
セグメント利益	187,275	2,833	52,138	242,246

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,246
全社費用(注)	△134,655
たな卸資産の調整額	△1,845
四半期連結損益計算書の営業利益	105,745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	512,275	174,568	369,286	1,056,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	512,275	174,568	369,286	1,056,130
セグメント利益又は損失(△)	270,756	16,901	△12,438	275,219

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,219
全社費用(注)	△141,475
たな卸資産の調整額	△847
四半期連結損益計算書の営業利益	132,896

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、株式会社東京テクニカル及び同社の子会社であるTaiwan Tokyo Technical Instruments Corp.を連結子会社としたことに伴い、「インダストリー4.0推進事業」セグメントにおいて225,100千円のものれんを計上しております。

3. 平成30年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明

(1) 受注実績の状況

① 受注実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IoT関連事業	583,063	476,528	1,034,571	959,919	451,508	483,391
環境エネルギー事業	352,560	718,588	475,249	670,587	122,689	△48,001
インダストリー4.0推進事業	430,053	114,074	331,079	140,258	△98,974	26,184
合計	1,365,678	1,309,190	1,840,901	1,770,765	475,223	461,575

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。